

「羽越水害の事前学習」

白鷹町立荒砥学校

私は、今日初めて羽越水害の事を知りました。一九五九年・九月二十六日・伊勢湾台風死者、行方不明者五千名越えを越えていたそうです。私が生まれる前におこった事を知らず、伊勢湾台風から八年後、一九六七年・八月二十八日未明・二十八

日夕刻二十九年未明にかけて、朝山系を中心とする、西置賜みぞら裏オゴウウが、おこったことばかりでした。私の住んでおる西置賜でも水害が、おこった事を知り、びっくりしました。現在、羽越水害の被害状況を、現在の人達に伝える人達が少なくなっています。私も、私達が伝える必要はないので、水害がおこったとき、水をためるがための建設が各地、各県で行われていきます。私達は、いざと来るときのために、準備して

おかげなければならぬのです。そのためには  
だいの建設や土の積み演習。たき出し訓練  
などを、しておく必要があると思います。  
ビデオの中で「ご近所ニッずいハザードマッ  
プ」というマップが紹介されました。ご近所  
で、水害があったときに、ひざん場所をかく  
にんするマップのことだそうです。困ったと  
きは、近所で協力することや、ビデオで学ば  
ました。水害・防災のときに必要母物があ  
ります。一つめは、かい中電とう。二つめは、  
けいたいらジオ。三つめは、きん急医りよう  
品。四つめは、飲料水。五つめは、食料品。  
六つめは、ろうりク。七つめは、現金・貴重  
品。八つめは、つえ。九つめは、ロープ。か  
必ず必要母物です。いざと、まに、備え  
ておくといひと思ひました。私は、事前学習  
をして、ゆがったこと、びくくりましたこと。  
か、たくさんあつたよかつたと思ひました。  
最上川交流子ども会が、とても楽しんで好  
てきました。レっかりと学習が、できました。

「羽越水害40年巡回パネル展を見学して」

「羽越水害」と聞いても私には全く覚えが  
 ありません。羽越水害が起きたのが、昭和42  
 年8月28日、私が生まれたのが昭和41年9月。  
 子供と一緒にゼロからの始まりです。  
 パネル展を見学に行きまじ知った事は、水  
 害のあった年月。そして次に知った事は自分  
 が生まれ育ったこの土地に起きた災害だとい  
 うことでした。歩を進めるといくうちに目に入  
 る当時の写真や新聞記事の数々。白鷹町の写  
 真の前に着いた時、見覚えのある家。こんな  
 所まで川の水が上がったのか、いや、と想像が  
 写真と結びつきました。そして「1時間は60  
 cm水位が上昇」とか、「小国町の沼沢駅では列  
 車内は二夜を過ぎました」など衝撃的な記事が  
 かりました。最後の方は、「洪水ハザードマ  
 ップの作り方や防災グッズの紹介のユナイ  
 ーがまりました。我が家には避難用袋はあり  
 ません。山形県は比較的災害の少ない土地  
 だと言われ、います。台風の直撃もあまりな  
 いし、地震も少なく、防災に対する意識も薄

リの「さくろすか」、我が家も例外ではなく、  
 防災グッズなど、懐中電灯くらいしかありません。  
 ん。災害当時の記事に、「飲水不足」とありま  
 りました。今の防災グッズの中には、泥水も  
 飲料水に変えるストローとパックがありました。  
 「これはぜひ探して準備しておこう」と心に  
 誓って帰って来ました。その日が7月14日。  
 又、後の16日、新潟中越地震が起きました。  
 少し前には九州地区の台風による水害。パネ  
 ル展の冒頭に「近年には災害が多い」とい  
 う箇所がありました。関東大震災(1923)伊勢湾台  
 風(1959)日本海中部地震(1983)と、この下の子が生ま  
 れた年の(1995)は阪神淡路大震災。今年も  
 亥年。今までは他人事だった防災にも、世  
 にかく身元を考えた。この機会に意識して  
 います。そして、ぜひとも多くの方には  
 「中越水害」に気づいてきた。この「世  
 代の方々」に思いました。特に、これからの  
 世代の「方々」に伝えたい。